

新しい飼料作物奨励品種の紹介

草地飼料部 草地飼料チーム TEL:0229-72-3101

研究の目的

畜産経営の安定化のためには、自給飼料の増産が重要な課題となっています。畜産試験場では、場内で飼料作物の栽培試験を実施し、生育特性や生産性を調査して、県内における栽培に適した品種の選定を行っています。今回は、飼料用トウモロコシ5品種及びペレニアルライグラス1品種について、新しく奨励品種として選定されましたので紹介します。

研究成果

○飼料用トウモロコシ

- ・「ゴールドデントKD421」（入手先：カネコ種苗）

極早生標準品種の「ネオデント・エスパス95」と同等程度の収量性・耐病性を持っています。また同じRM帯の品種の中では登熟に要する期間が短く、比較的早期に収穫することが可能です。栽植本数は、8,000～9,000本/10aを目安としてください。

- ・「Z-corn118」（入手先：全酪連）

早中生標準品種の「パイオニア118日」と比較して優れた赤カビ耐性・同等程度の収量性を持っています。栽植本数は、7,000本/10aを目安としてください。

- ・「スノーデント118R」（入手先：雪印種苗）

早中生標準品種の「パイオニア118日」と比較して同等程度の収量性・耐病性を持っています。栽植本数は、7,000～7,500本/10aを目安としてください。

- ・「パイオニア123日」（入手先：カネコ種苗, 全酪連, 雪印種苗等）

中生標準品種の「スノーデント125T」と比較して優れた収量性・同等程度の耐病性を持っています。栽植本数は、6,800～7,200本/10aを目安としてください。

- ・「パイオニア125日」（入手先：カネコ種苗, 全酪連, 雪印種苗等）

中生標準品種の「スノーデント125T」と比較して優れた収量性および赤カビ耐性を持っています。栽植本数は、6,000～6,500本/10aを目安としてください。

○ペレニアルライグラス「夏ごしペレ」

高越夏性ペレニアルライグラス品種「夏ごしペレ」は夏枯れ耐性（越夏性）に劣るペレニアルライグラスでありながら標準品種の「フレンド」と比較して高い越夏性を有しており、草地の永続性に優れます。栽培する時は、「夏ごしペレ栽培マニュアル（発行：農研機構・東北農業研究センター）」を参考とし、播種量は10aあたり3kg程度としてください。また採草利用する場合は、耐倒伏性に劣るため、1番草を穂ばらみ期に収穫してください。

利活用の留意点等

栽培管理については、「牧草・飼料作物（県奨励品種）栽培の手引き」を基本として下さい。

より詳しい内容は「普及に移す技術」第97号（令和4年7月発行）をご覧ください。

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/hukyuu-index.html

